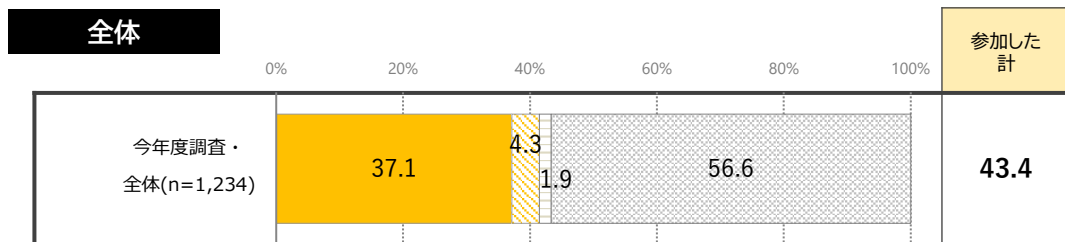
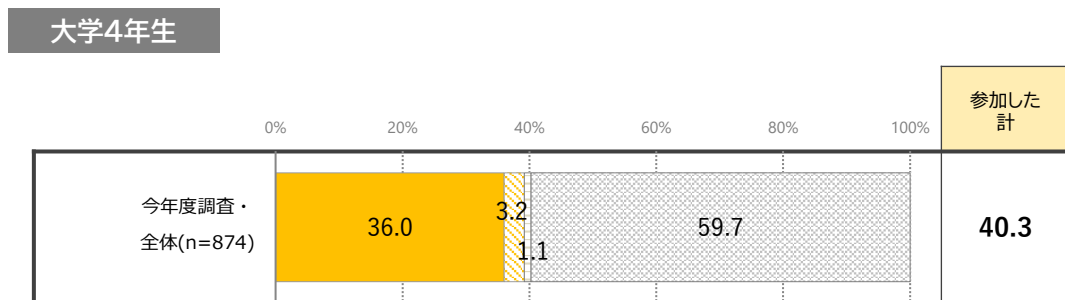


②ジョブ型採用のインターンシップ参加状況

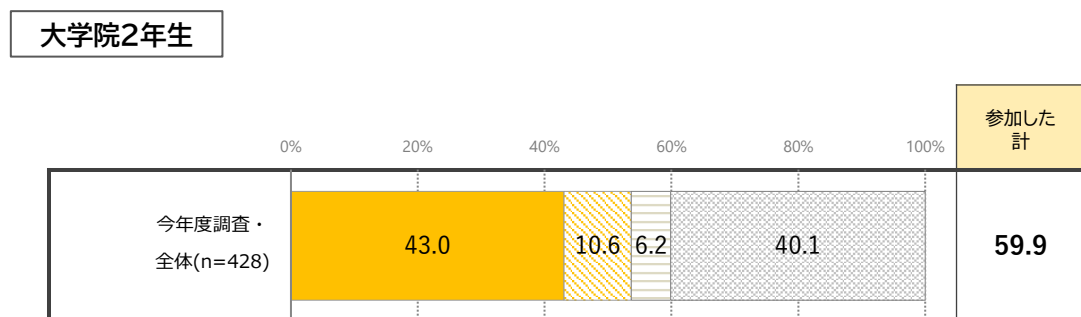
ジョブ型採用※1での就職活動経験がある者に関して、当該企業のインターンシップを受けていたかについて、「5日間未満のインターンシップに参加した」が最も高く約4割となり、「参加した」とする回答割合は約4割となった。



- 5日間未満のインターンシップに参加した
- ▨ 5日間以上2週間未満のインターンシップに参加した
- 2週間以上のインターンシップに参加した
- ▩ インターンシップに参加していない



- 5日間未満のインターンシップに参加した
- ▨ 5日間以上2週間未満のインターンシップに参加した
- 2週間以上のインターンシップに参加した
- ▩ インターンシップに参加していない



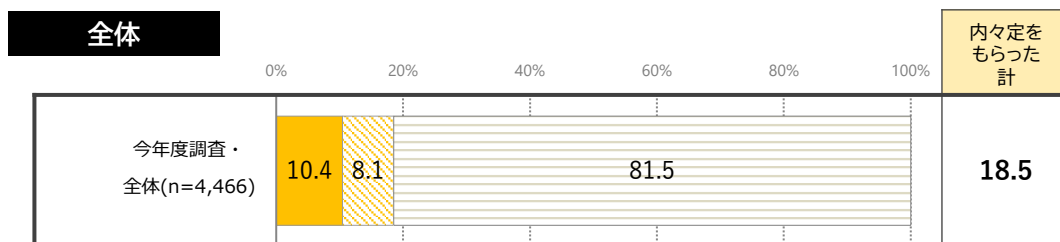
- 5日間未満のインターンシップに参加した
- ▨ 5日間以上2週間未満のインターンシップに参加した
- 2週間以上のインターンシップに参加した
- ▩ インターンシップに参加していない

※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問（本章）は今年度調査より実施。

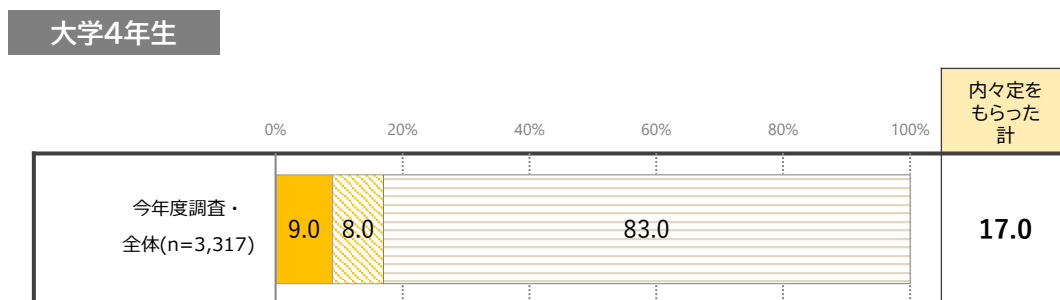
(3) ジョブ型採用での内々定の状況

①ジョブ型採用での内々定の状況(就職活動実施者対象)

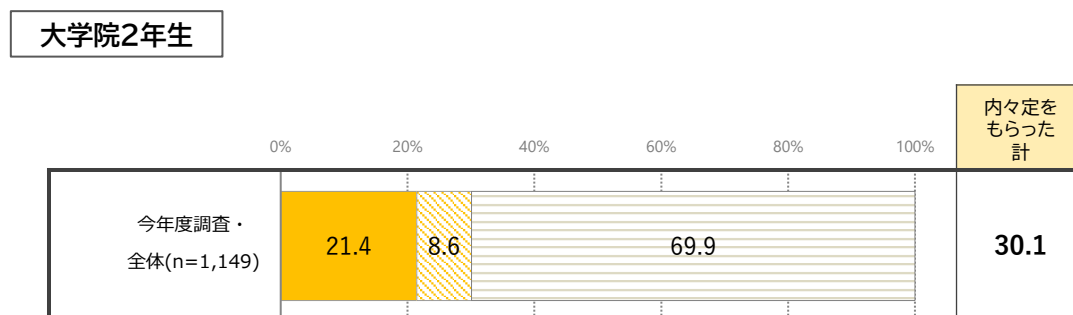
就職活動実施者におけるジョブ型採用※1での内々定の状況について、「ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する」が約1割、「ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない」が約1割となり、「ジョブ型採用で内々定をもらった」とする回答割合は約2割となった。



- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない



- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない

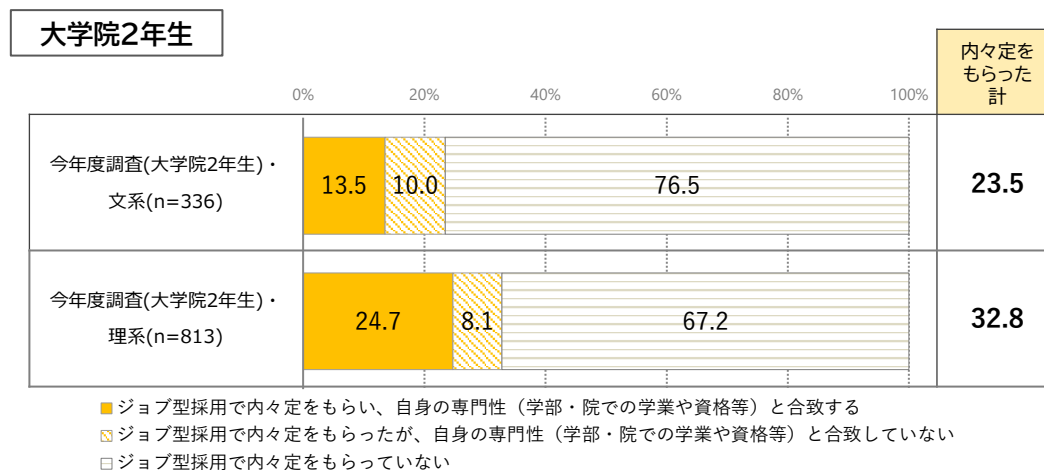
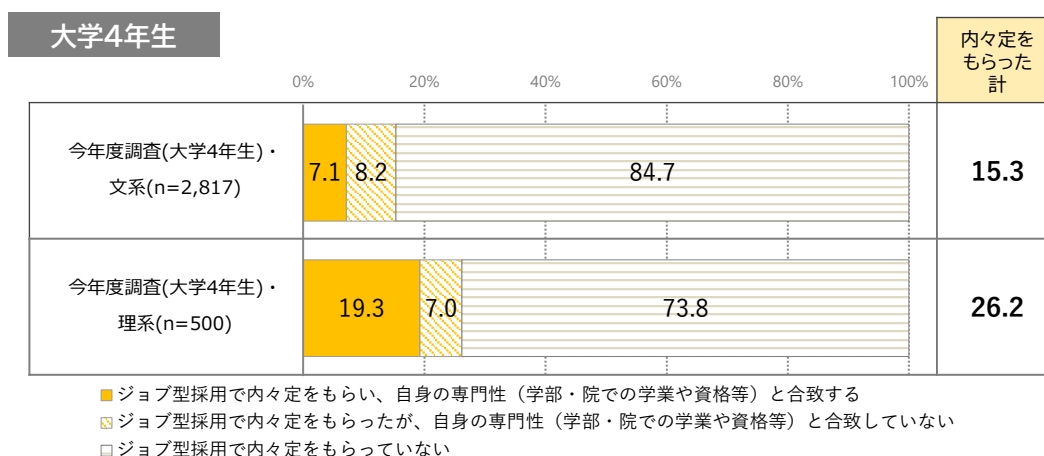
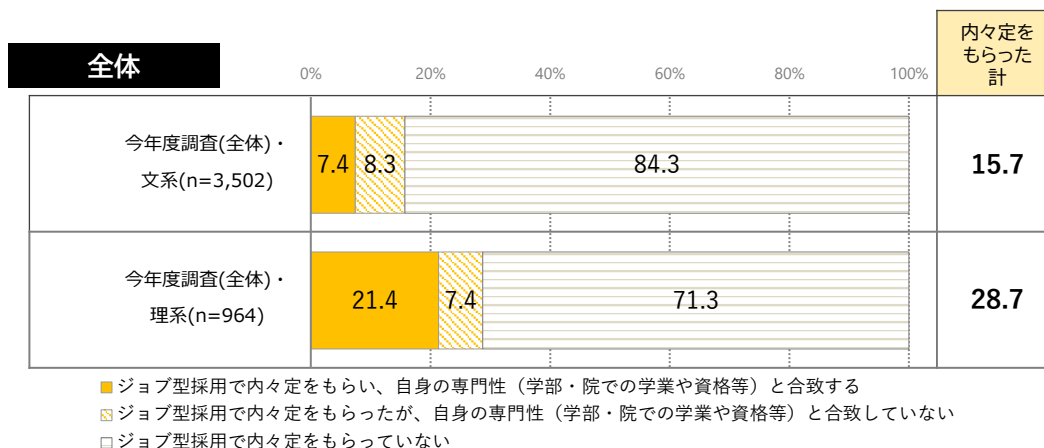


- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない

※1: 「特定の職務等を限定した採用(ジョブ型採用)」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問(本章)は今年度調査より実施。

①ジョブ型採用での内々定の状況(就職活動実施者対象・文理系別)

就職活動実施者におけるジョブ型採用※1での内々定の状況について、文系・理系※2かどうかによって集計を行った。「ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する」については、文系では約1割、理系では約2割。「ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない」は、文系・理系どちらも約1割となった。

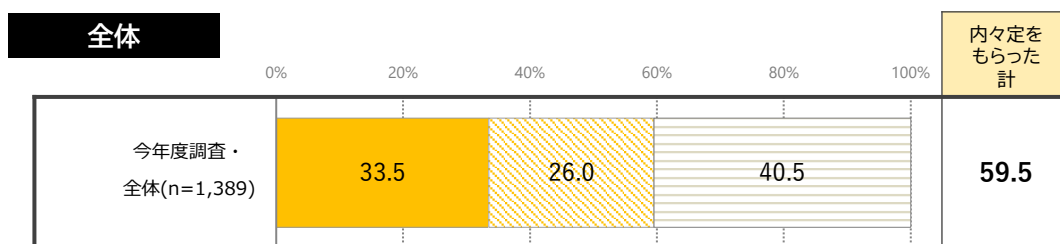


※1: 「特定の職務等を限定した採用(ジョブ型採用)」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問(本章)は今年度調査より実施。

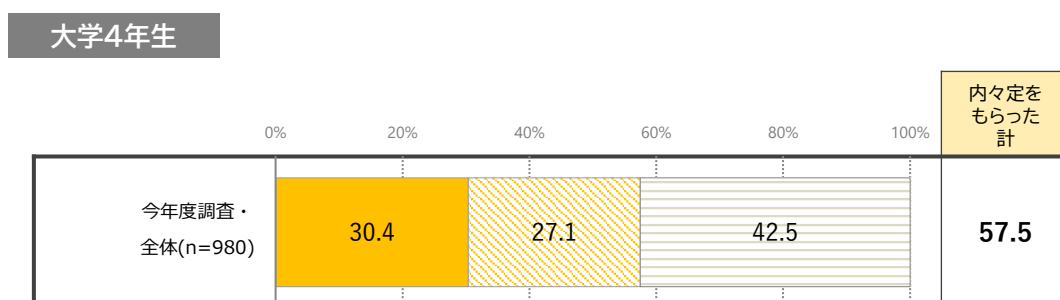
※2: 「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている。

①ジョブ型採用での内々定の状況(ジョブ型採用での就職活動経験者対象)

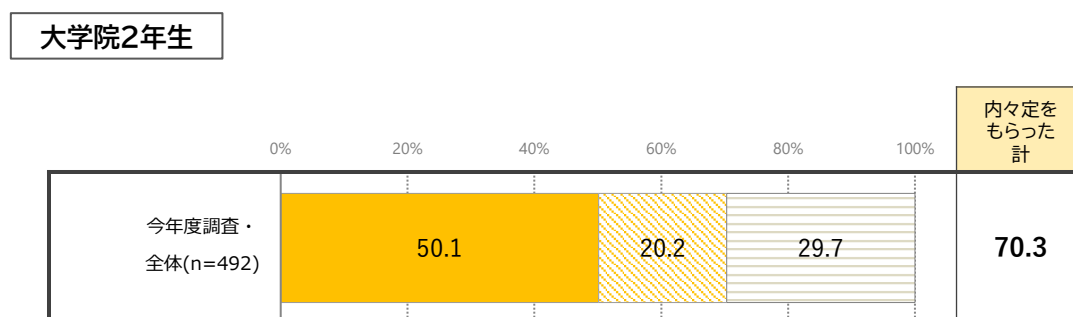
内々定をもらっており、かつジョブ型採用※1での就職活動経験がある者に関して、ジョブ型採用での内々定の状況について、「ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する」が約3割、「ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない」が約3割となり、「ジョブ型採用で内々定をもらった」とする回答割合は約6割となった。



- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない



- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない



- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない

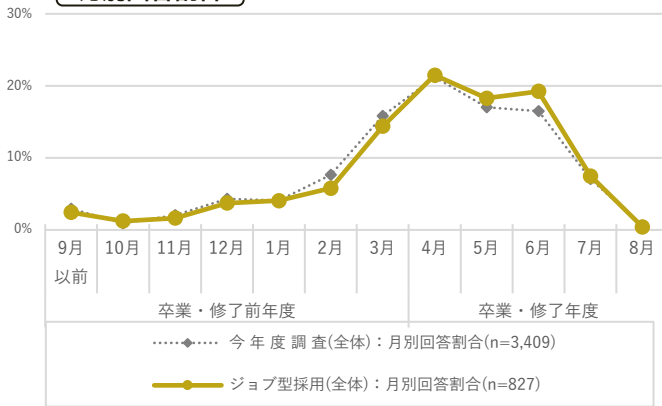
※1: 「特定の職務等を限定した採用(ジョブ型採用)」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問(本章)は今年度調査より実施。

②ジョブ型採用の内々定の時期

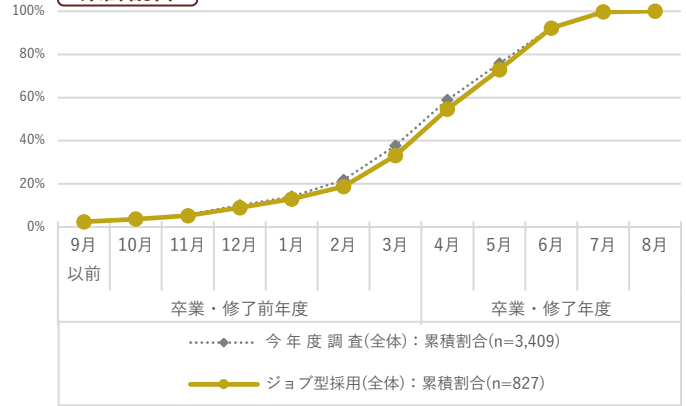
ジョブ型採用※1で最初に内々定を受けた時期について※2、「最初の内々定を受けた時期」※3と比較した。傾向はほとんど変わらず、卒業・修了年度の「2021年度4月」が最も高く、次いで「2021年度6月」が高い。

全体

月別回答割合

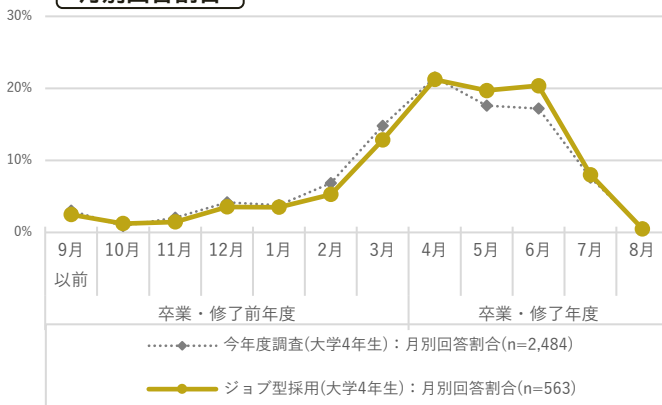


累計割合

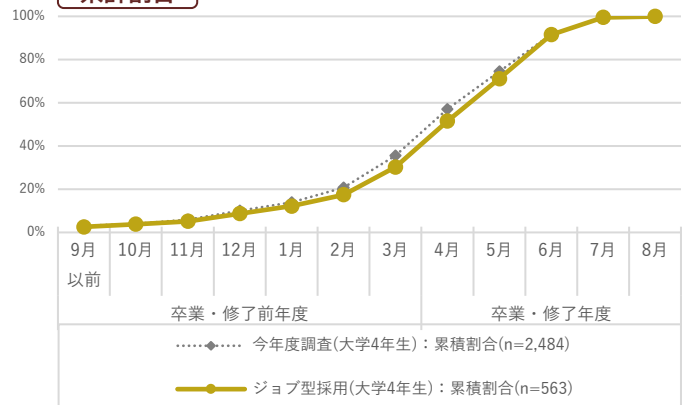


大学4年生

月別回答割合

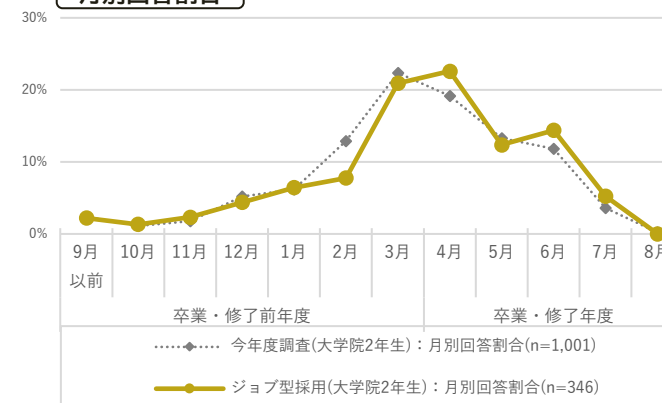


累計割合

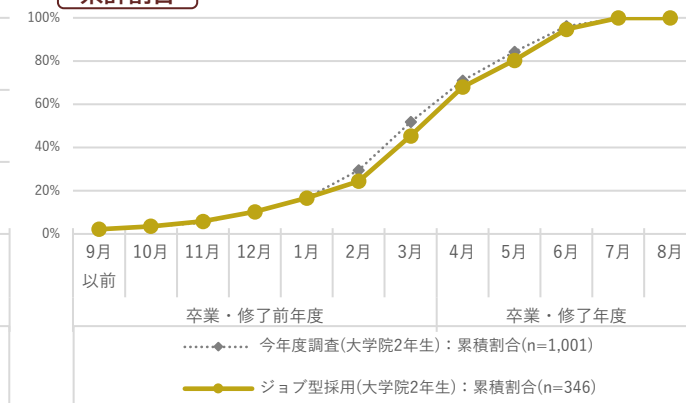


大学院2年生

月別回答割合



累計割合



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問（本章）は今年度調査より実施。

※2：業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。また、2017～2019年度調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、2020年度調査、今年度調査では「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。ただし、過年度調査との比較を行う上では、「6月以前」「7月」「8月」「9月」との回答を「9月以前」として再集計をしている（以下、就職活動の時期に関する調査項目について同様）。

※3：今年度調査結果については、公務員・教職員を除いて集計している。

②ジョブ型採用の内々定の時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9	0.3	0.4	0.8	1.2	1.6	3.7	4.0	5.8	14.4	21.5	18.3	19.2	7.5	0.4
累積割合	0.9	1.2	1.7	2.4	3.6	5.2	8.9	13.0	18.8	33.1	54.6	72.9	92.1	99.6	100.0

大学4年生

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8	0.3	0.5	0.9	1.2	1.4	3.5	3.5	5.3	12.9	21.2	19.7	20.4	8.0	0.5
累積割合	0.8	1.1	1.6	2.5	3.7	5.1	8.6	12.1	17.4	30.2	51.5	71.1	91.5	99.5	100.0

大学院2年生

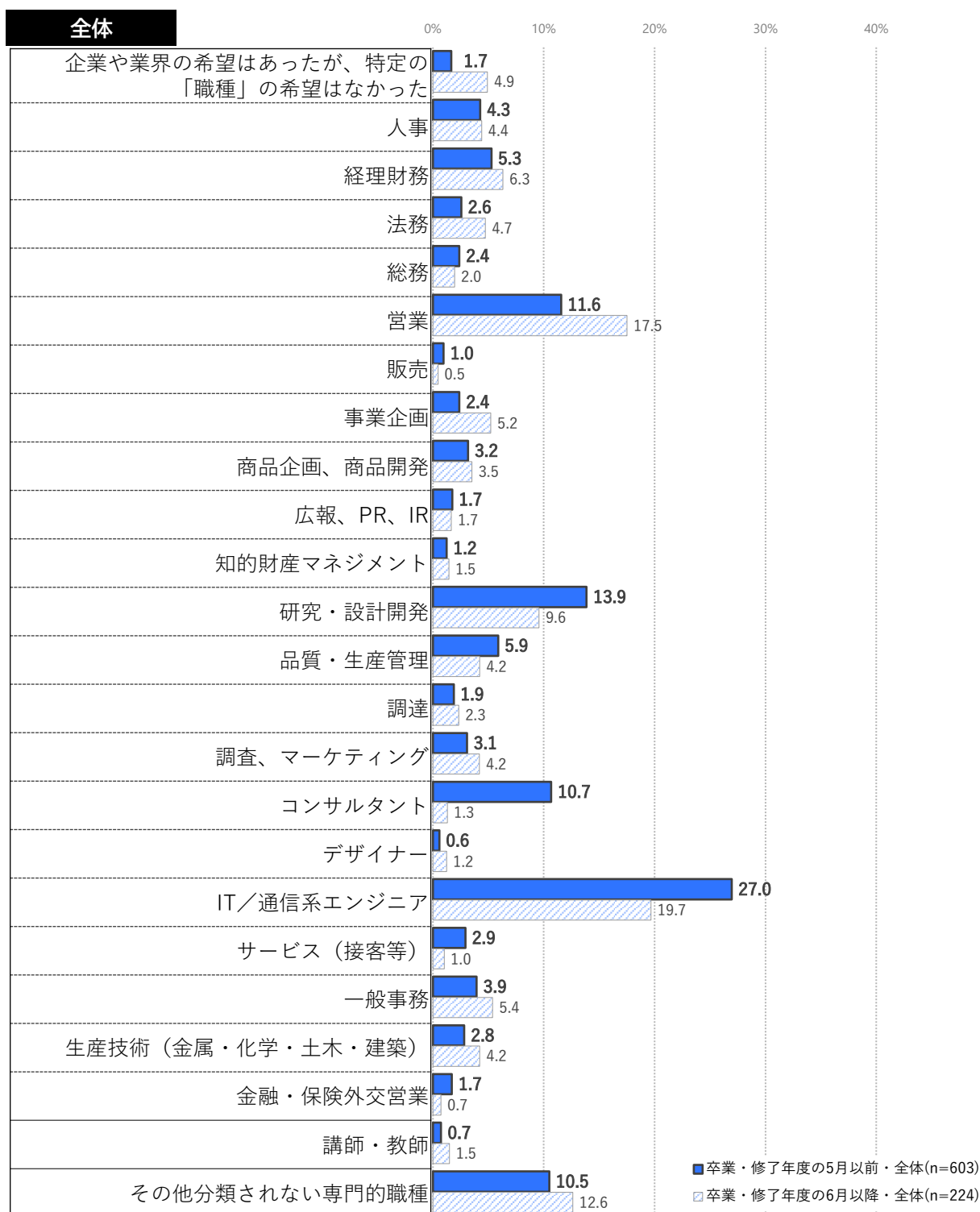
	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.3	0.5	0.2	0.2	1.3	2.3	4.4	6.4	7.8	20.9	22.6	12.4	14.4	5.2	0.0
累積割合	1.3	1.8	2.0	2.2	3.5	5.8	10.2	16.7	24.4	45.4	68.0	80.4	94.8	100.0	100.0

③ジョブ型採用で内々定を受けた職種

ジョブ型採用※1で内々定を受けた職種について、卒業・修了年度の5月以前では、「IT・通信系エンジニア」が約3割と最も高く、次に「研究・設計開発」が約1割と高い。

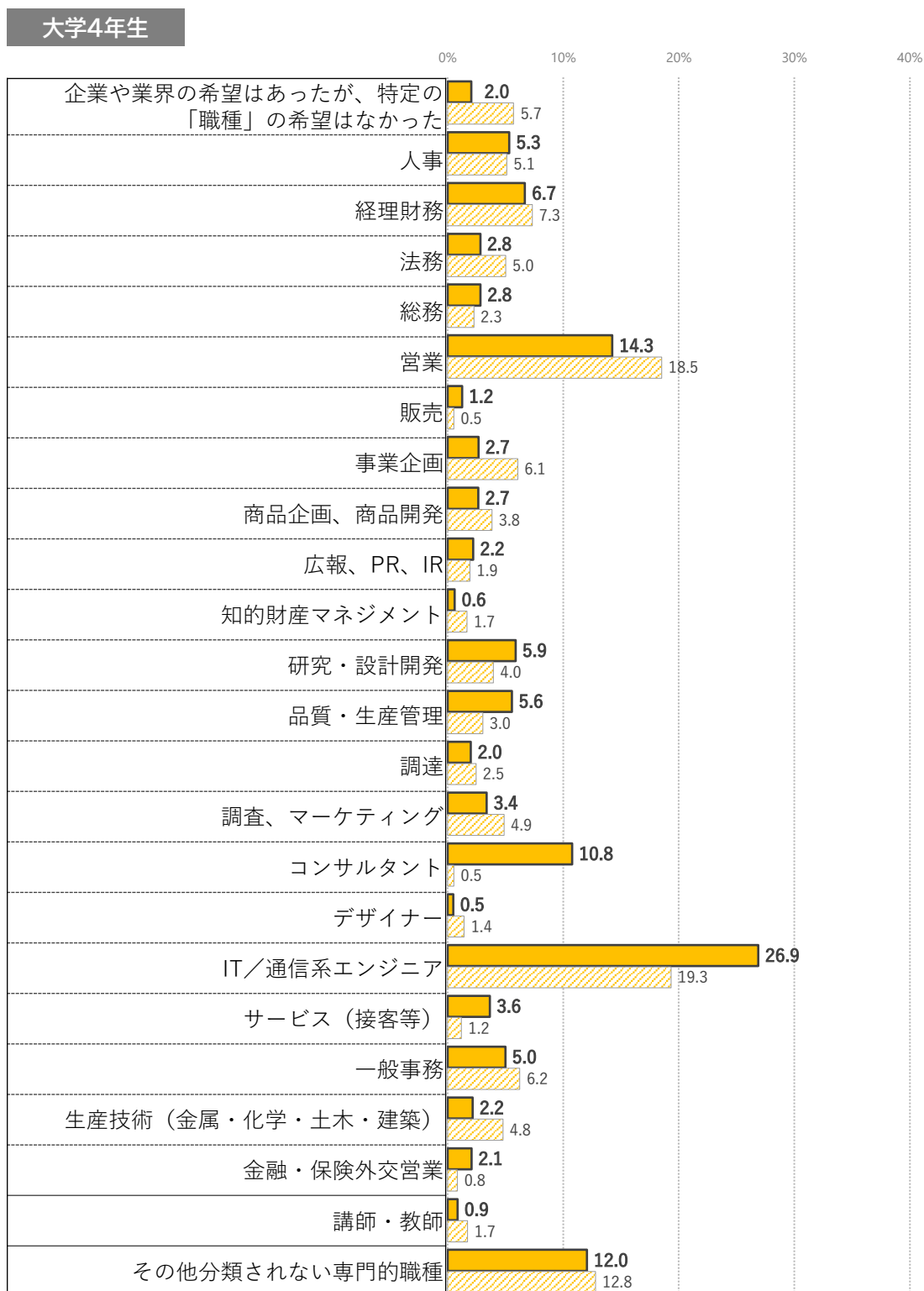
卒業・修了年度の6月以降では、「IT・通信系エンジニア」が約2割と最も高く、次いで「営業」が約2割と高い。

卒業・修了年度の6月以降に対して、卒業・修了年度の5月以前の方が高い職種は、「研究・設計開発」「コンサルタント」「IT／通信系エンジニア」。次頁以降の学年別の結果で、大学4年生と大学院2年生を比較すると、「研究・設計開発」は大学4年生で5%前後に対し、大学院2年生では約4割となっている。



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問（本章）は今年度調査より実施。

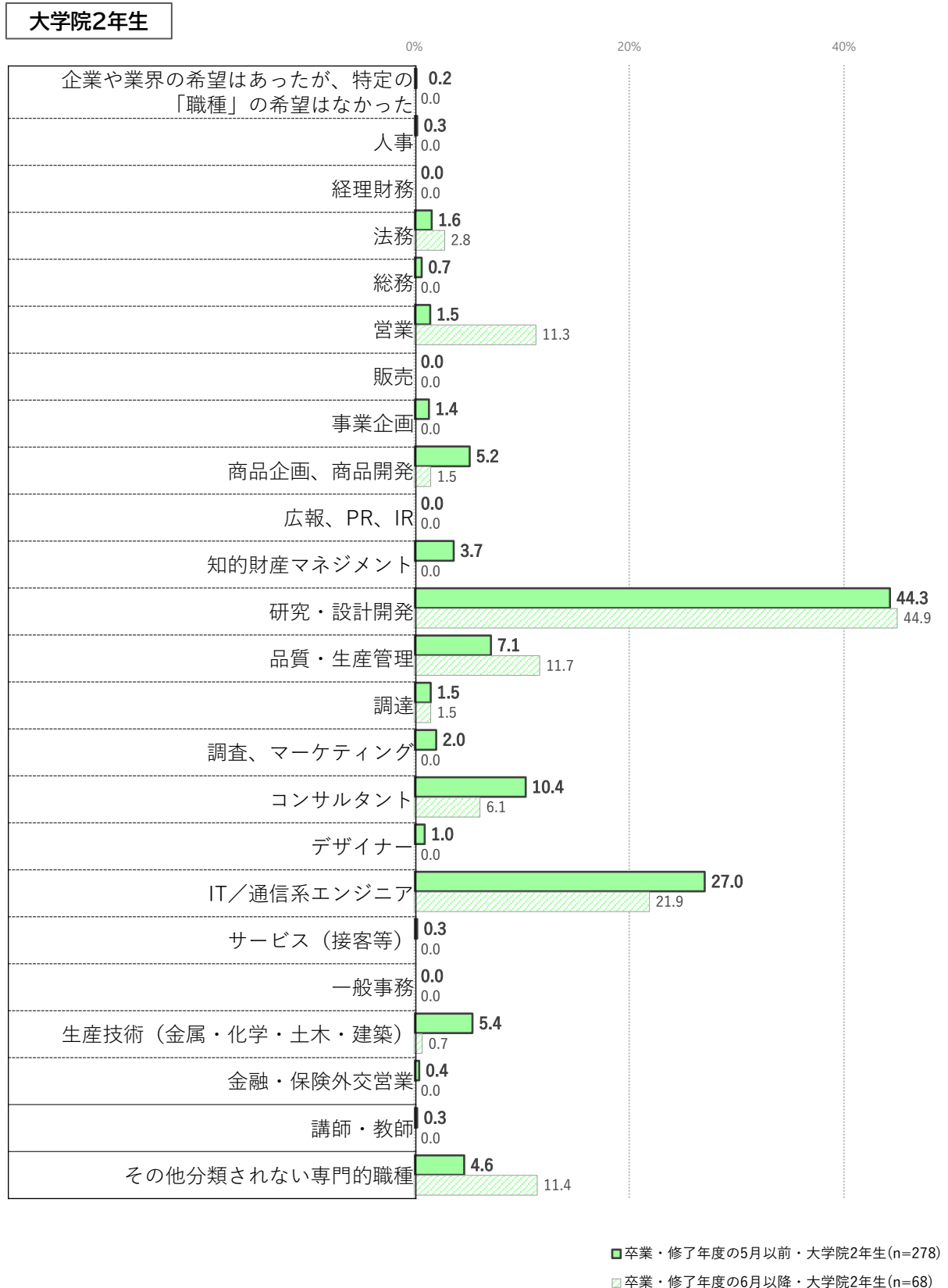
③ジョブ型採用で内々定を受けた職種



■ 卒業・修了年度の5月以前・大学4年生(n=401)

▨ 卒業・修了年度の6月以降・大学4年生(n=163)

③ジョブ型採用で内々定を受けた職種

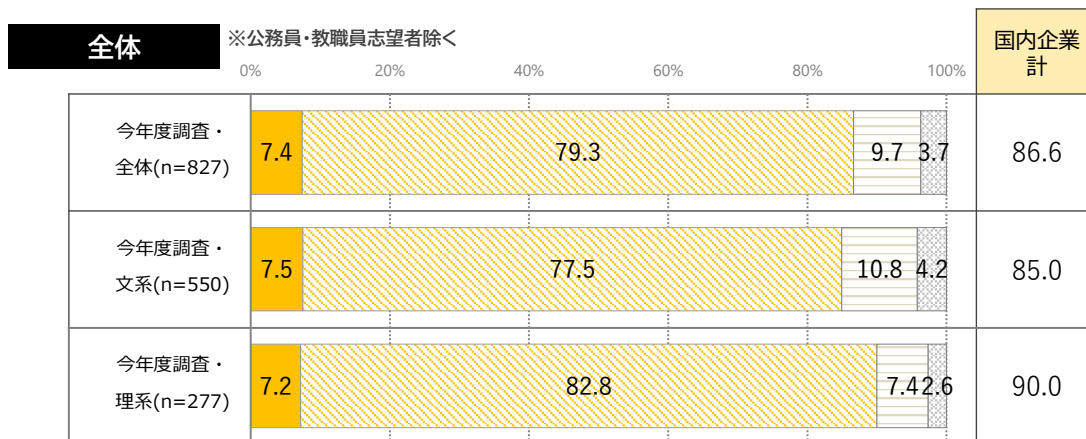


④ジョブ型採用で内々定を受けた企業が国内企業かどうか

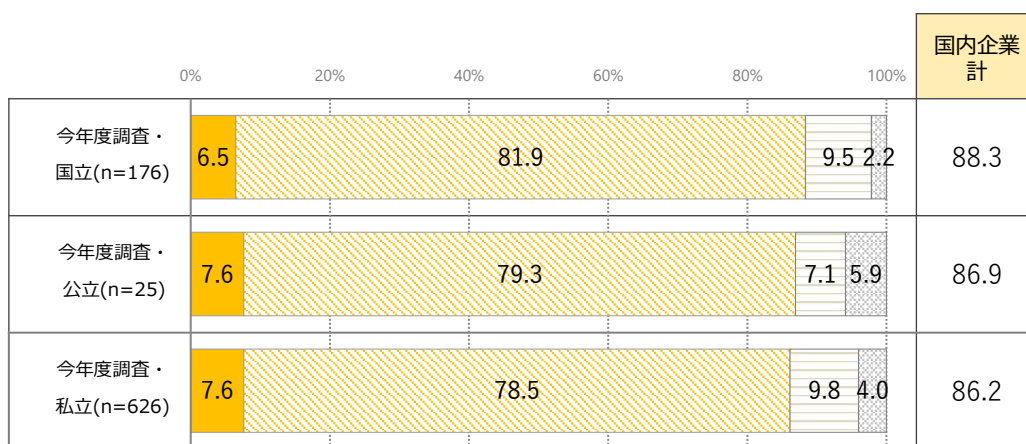
ジョブ型採用※1で内々定を受けた学生(就職活動実施者全体の18.5%)のうち、企業※2が国内企業かどうかに関して、文系・理系かどうか、国立・公立・私立かどうかによって集計を行った※3。

「外資系企業」については、「文系」で10.8%と、「理系」7.4%に対してやや高い。

また「外資系企業」の割合が、「国立」で9.5%、「私立」で9.8%に対して、「公立」で7.1%とやや低い。



■ 国内企業 (ベンチャー企業) ▨ 国内企業 (ベンチャー企業以外)
 □ 外資系企業 ▩ わからない



■ 国内企業 (ベンチャー企業) ▨ 国内企業 (ベンチャー企業以外)
 □ 外資系企業 ▩ わからない

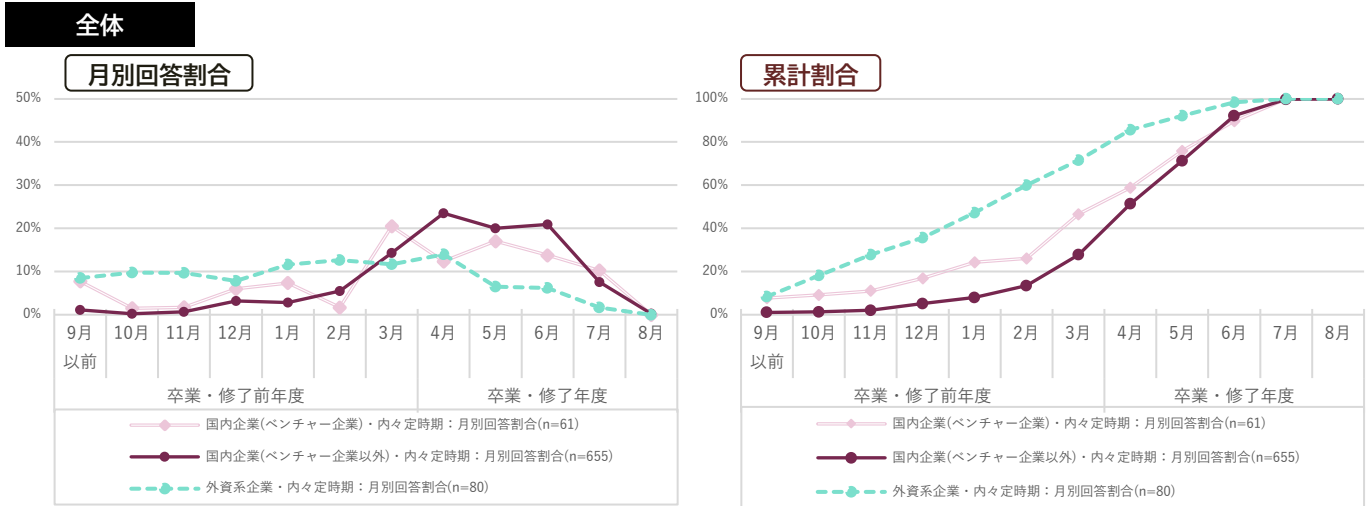
※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問（本章）は今年度調査より実施。

※2：ベンチャー企業については、「ここでは、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業のこととする。」と、回答者に案内した上で調査を行った。

※3：分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

⑤ジョブ型採用で内々定を受けた企業の種類と内々定を受けた時期(企業の種類別)

ジョブ型採用※1で最初に内々定を受けた時期について※2、内々定を受けた企業の種類で※2と比較した。最も回答割合が高いのは、「国内企業(ベンチャー企業)」では「2022年3月」、「国内企業(ベンチャー企業以外)」では「2022年4月」と、どちらも採用・選考活動開始時期前である。「外資系企業」については、「2022年4月」の回答割合が高いが、あまり他の時期と比べて目立って高くはない。一方で累計割合を見てみると、「2022年2月」時点で6割が内々定を受けたと回答しており、「国内企業」と比べて内々定時期が早い傾向がみられた。



【月別回答割合】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業(ベンチャー企業以外)	1.7	0.0	1.7	4.3	1.5	1.7	6.0	7.4	1.7	20.5	12.4	17.1	13.8	10.3	0.0
国内企業(ベンチャー企業)	1.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.7	3.2	2.8	5.5	14.3	23.5	20.0	20.9	7.5	0.2
外資系企業	0.0	2.2	1.8	4.5	9.7	9.7	7.8	11.6	12.6	11.7	14.0	6.5	6.2	1.7	0.0

【累積割合】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業(ベンチャー企業以外)	1.7	1.7	3.4	7.7	9.2	11.0	17.0	24.3	26.1	46.5	58.9	75.9	89.7	100.0	100.0
国内企業(ベンチャー企業)	1.0	1.0	1.1	1.1	1.3	2.0	5.2	8.0	13.5	27.8	51.3	71.3	92.2	99.8	100.0
外資系企業	0.0	2.2	4.0	8.5	18.2	27.8	35.7	47.3	59.9	71.6	85.6	92.1	98.3	100.0	100.0

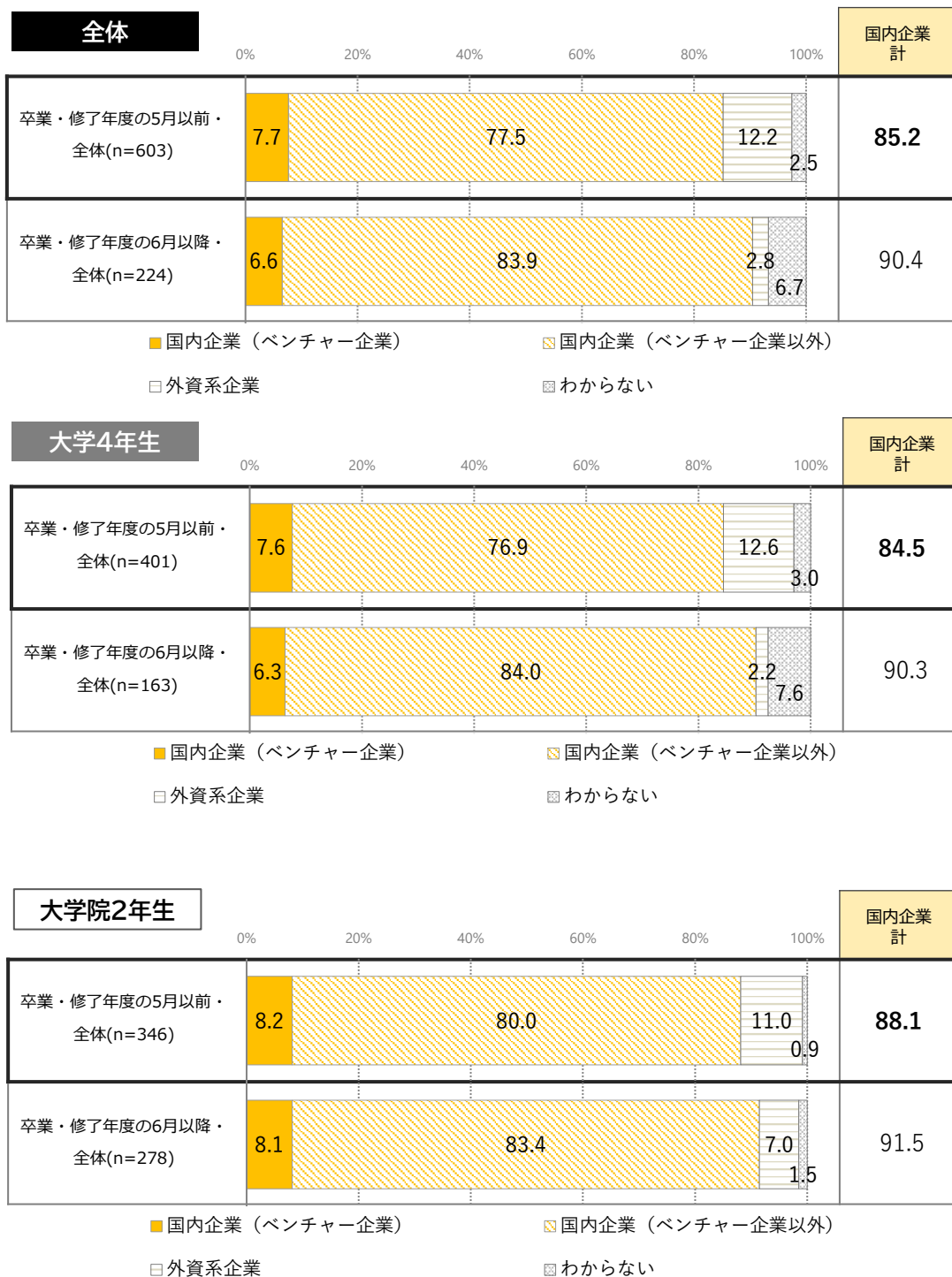
※1：「特定の職務等を限定した採用(ジョブ型採用)」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問(本章)は今年度調査より実施。

※2：分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

⑥ジョブ型採用で内々定を受けた時期(2区分)

ジョブ型採用※1で内々定を受けた学生(就職活動実施者全体の18.5%)のうち、企業が国内企業かどうかに関して、ジョブ型採用で最初に内々定を受けた時期を、卒業・修了年度の5月以前に受けた者と、卒業・修了年度の6月以降に受けた者に分けて集計を行った※2。卒業・修了年度の5月以前のほうが、卒業・修了年度の6月以降よりも「外資系企業」とする割合が高くなった。

一方、ベンチャー企業かどうかの割合については、大きな差は見られなかった。



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問（本章）は今年度調査より実施。

※2：ベンチャー企業については、「ここでは、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業のこことする。」と、回答者に案内した上で調査を行った。

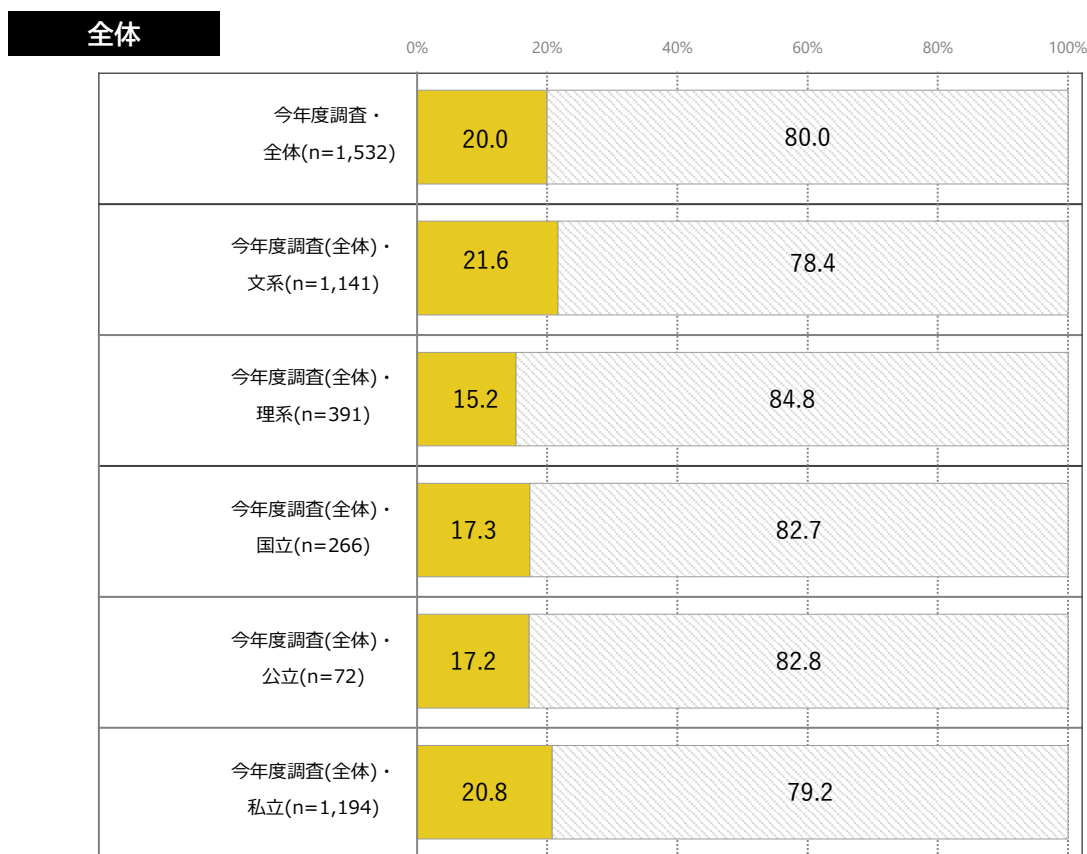
(4) ジョブ型採用とそうでない採用の応募・待遇について

①ジョブ型採用とそうでない採用の応募状況

ジョブ型採用※1での就職活動経験がある者に関して、一つの企業において「ジョブ型採用」とそうでない採用の両方へ応募したこと、もしくは応募を検討したことがあったかについて、文系・理系別、国立・公立・私立別、学部別で集計した。

「一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した」の回答割合は2割となった。

文系・理系別では、「文系」で21.6%とやや高い傾向がみられた。国立・公立・私立別では、「私立」で20.8%とやや高い。学部別では、「社会科学」で22.4%、「人文科学」で21.5%とこの2つの学部で2割を超えた。



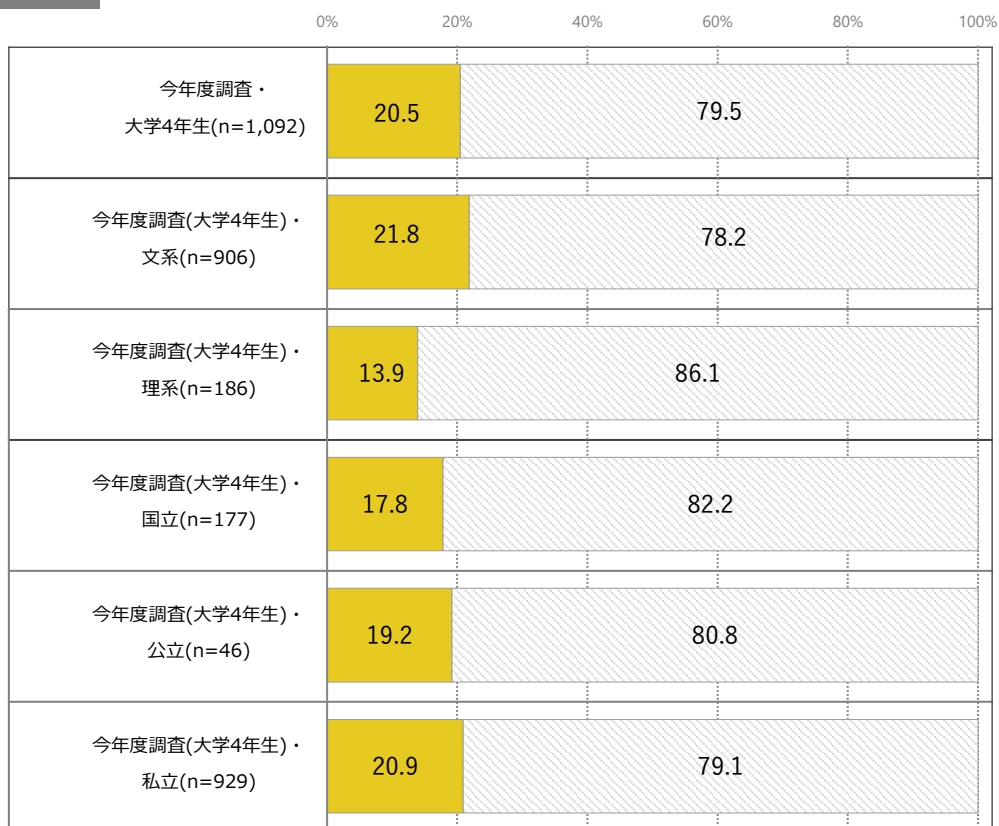
■ 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した

□ 一つの企業で両方の応募はしていない・もしくは応募を検討していない

学部別(全体)	一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した (%)
人文科学 (n=321)	21.5
社会科学 (n=684)	22.4
理学 (n=116)	15.3
工学 (n=233)	16.0
農学 (n=25)	11.9
保健 (n=16)	8.4
家政 (n=24)	10.6
教育 (n=27)	12.5
芸術 (n=9)	0.0
その他 (n=75)	24.5

※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問（本章）は今年度調査より実施。

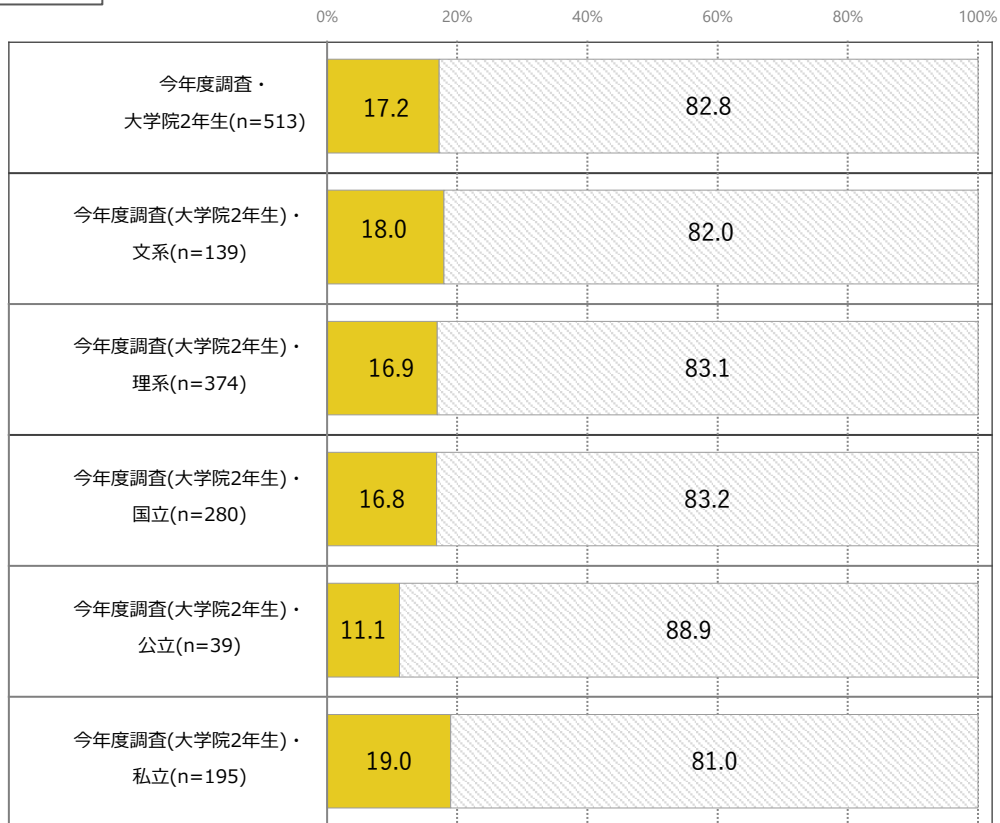
大学4年生



- 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した
- 一つの企業で両方の応募はしていない・もしくは応募を検討していない

学部別 (全体)	一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した (%)
人文科学 (n=257)	21.3
社会科学 (n=552)	22.8
理学 (n=53)	15.4
工学 (n=109)	14.8
農学 (n=11)	7.1
保健 (n=13)	6.2
家政 (n=14)	6.2
教育 (n=20)	11.2
芸術 (n=7)	0.0
その他 (n=56)	26.1

大学院2年生



■ 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した

□ 一つの企業で両方の応募はしていない・もしくは応募を検討していない

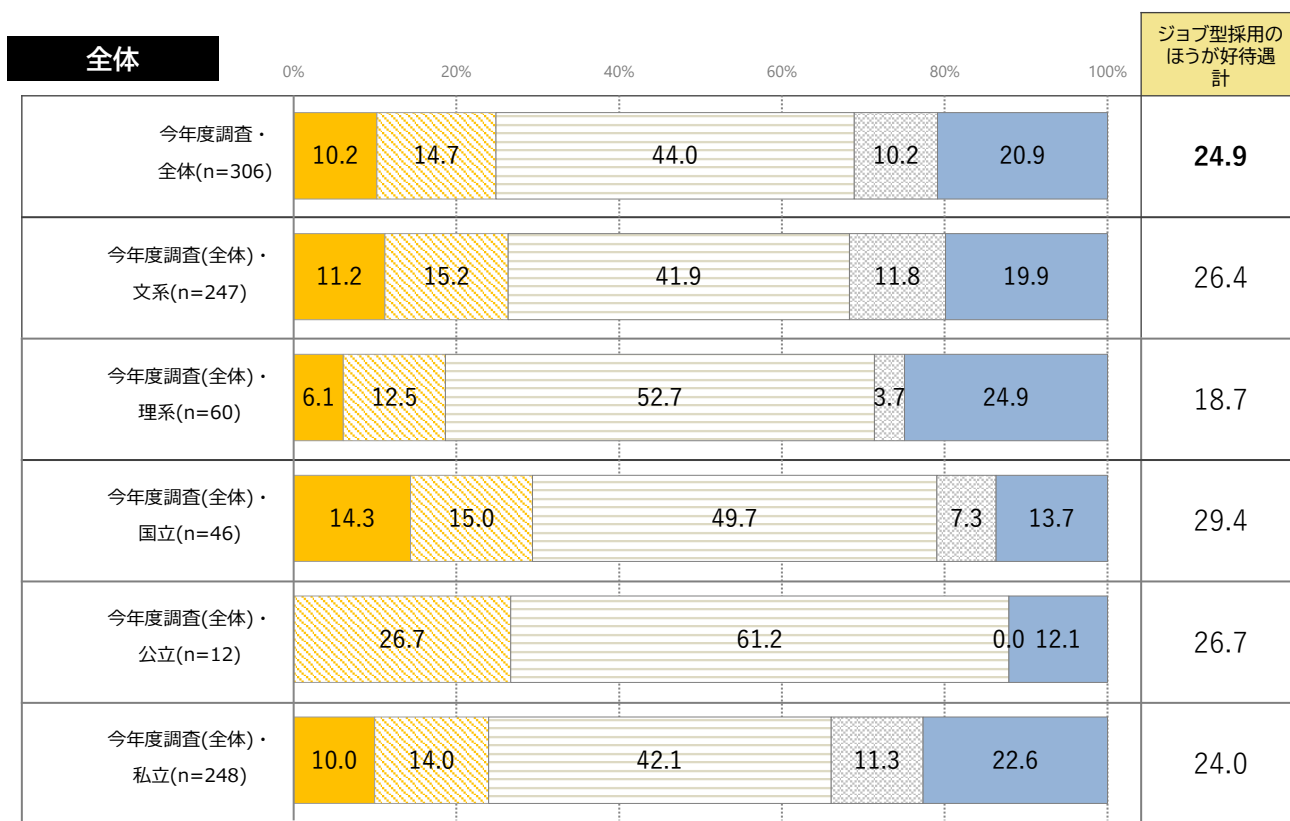
学部別 (全体)	一つの企業で両方 応募した・もしくは 応募を検討した
人文科学 (n=36)	17.2
社会科学 (n=60)	26.0
理学 (n=117)	14.3
工学 (n=229)	15.3
農学 (n=26)	17.6
保健 (n=4)	17.6
家政 (n=15)	28.0
教育 (n=7)	21.3
芸術 (n=2)	21.9
その他 (n=19)	0.0

②ジョブ型採用とそうでない採用で待遇(初任給や年俵・諸手当等)の違いがあったか

ジョブ型採用※1とそうでない採用の両方へ応募・もしくは応募を検討した者に関して、ジョブ型採用とそうでない採用で待遇(初任給や年俵・諸手当等)の違いがあったかについて、文系・理系別、国立・公立・私立別、学部別で集計した。

「どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない」が約4割と最も高い。「ジョブ型採用のほうが好優遇」とする回答割合は約2割となった。

文系・理系別では、「ジョブ型採用の方が好待遇」とする割合は、「文系」で26.4%と高く、また国立・公立・私立別では、「国立」で29.4%とやや高い。

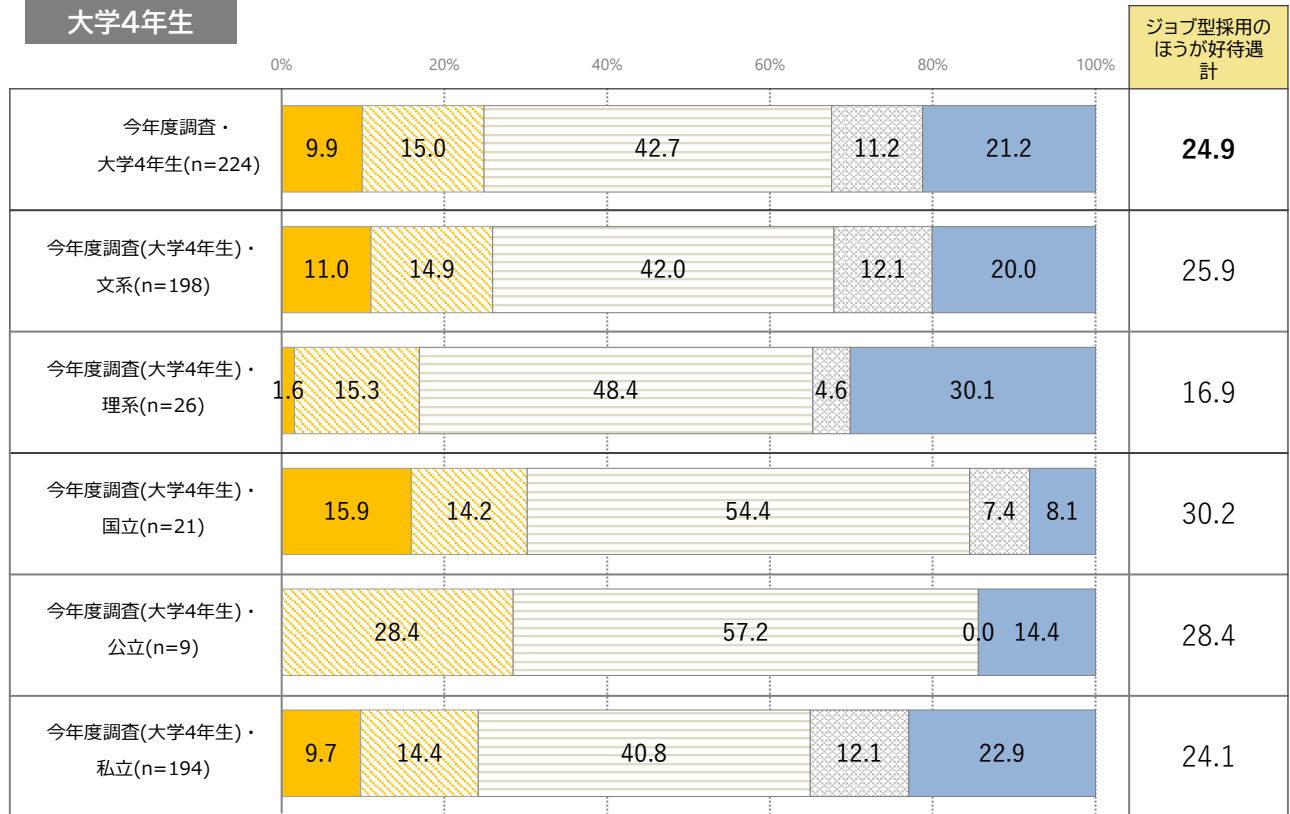


- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▤ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった

学部別	ジョブ型採用の ほうが好優遇 計
人文科学 (n=69)	26.0
社会科学 (n=153)	26.0
理学 (n=18)	14.2
工学 (n=37)	21.1
農学 (n=3)	22.6
保健 (n=1)	0.0
家政 (n=3)	70.8
教育 (n=3)	21.5
芸術 (n=0)	-
その他 (n=18)	25.8

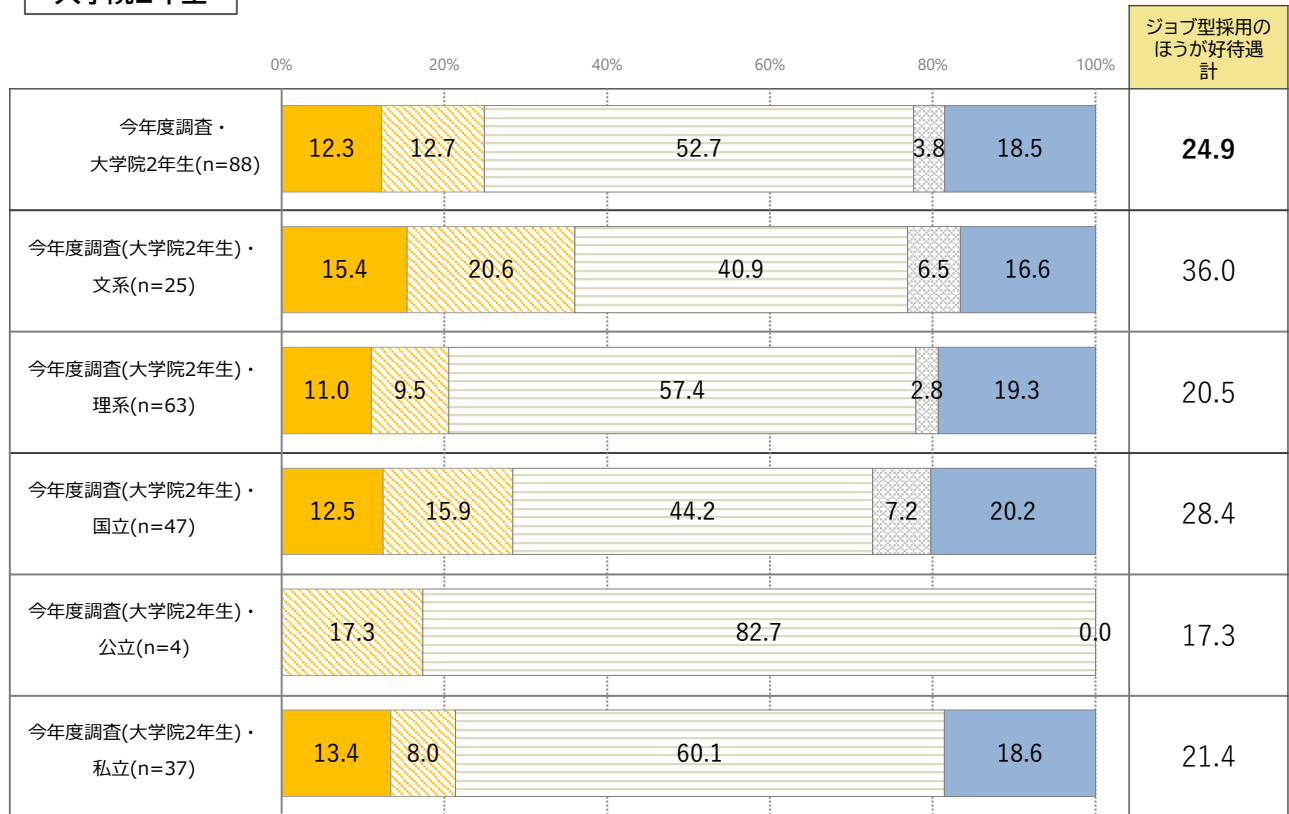
※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。「ジョブ型採用」に関する設問（本章）は今年度調査より実施。

大学4年生



- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▩ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった

大学院2年生



- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった

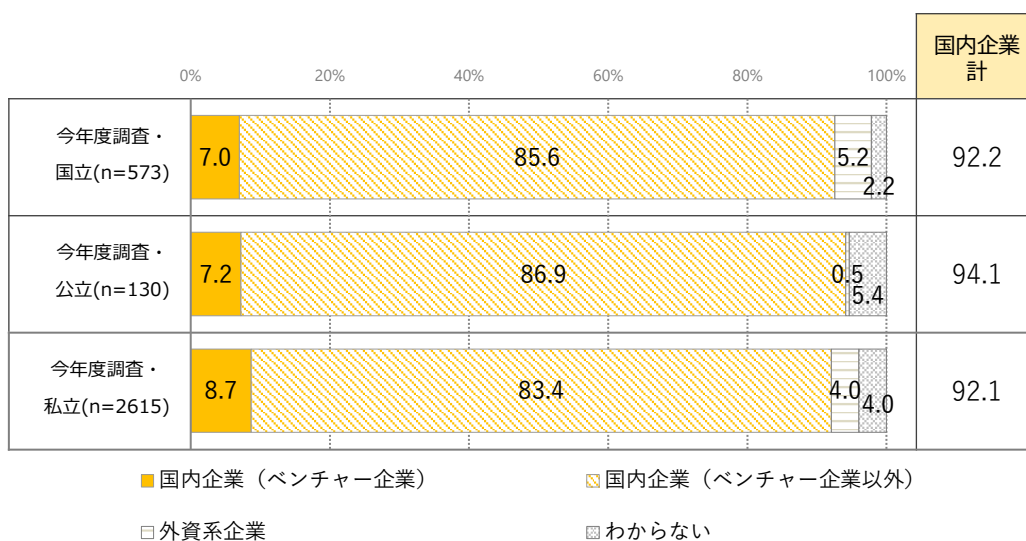
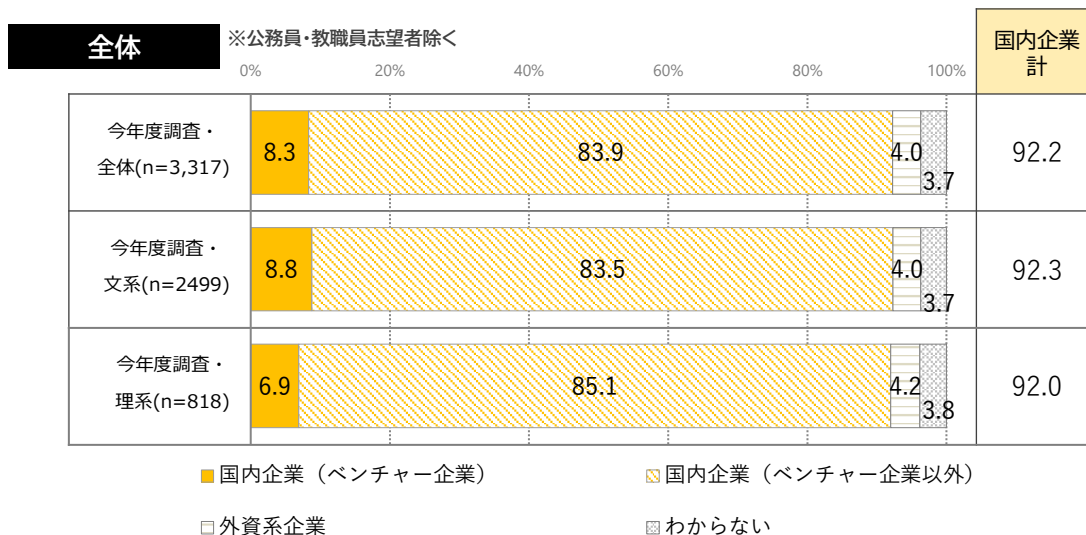
第八章 内々定 企業種類別の傾向について

第八章 内々定 企業種類別の傾向について

(1)就職予定の企業の種類の属性別傾向

①就職予定の企業種類の学部・大学別傾向

就職予定の企業※1が国内企業かどうかについて、文系・理系別※2、国立・公立・私立別、学部別で集計した。文系・理系別では、あまり大きな違いはなかった。国立・公立・私立別では、「外資系企業」の割合が、「公立」で0.5%と、他と比べると低い傾向が見られた。

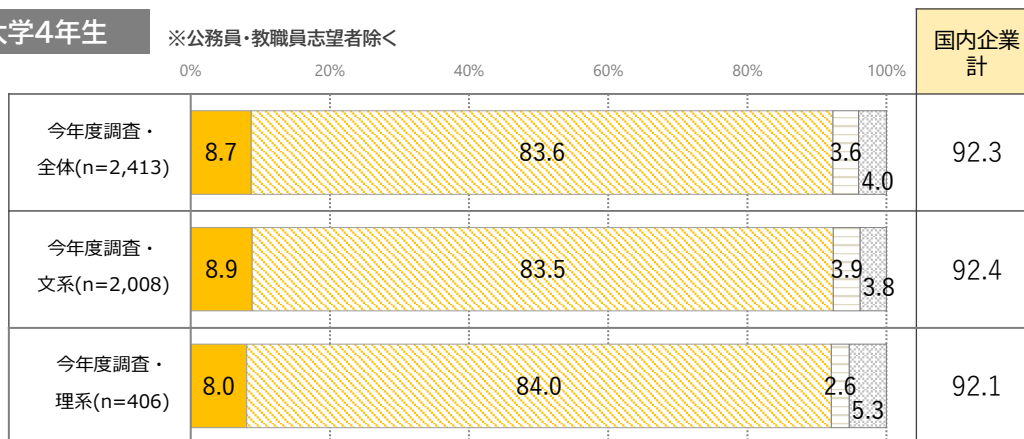


※1：公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

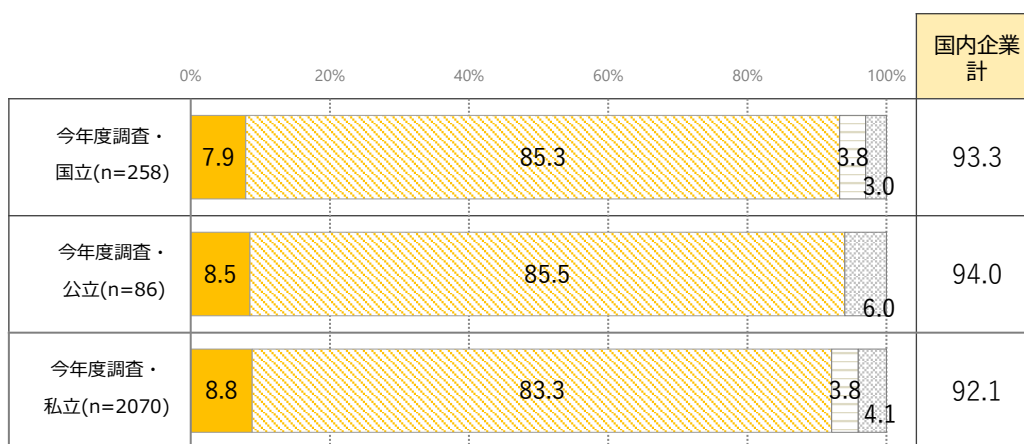
※2：「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている。

大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



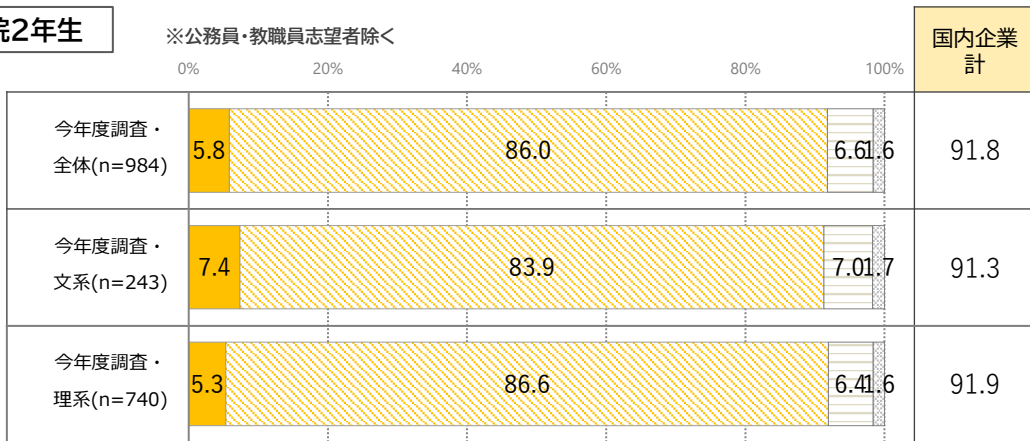
■ 国内企業（ベンチャー企業） ■ 国内企業（ベンチャー企業以外）
□ 外資系企業 ■ わからない



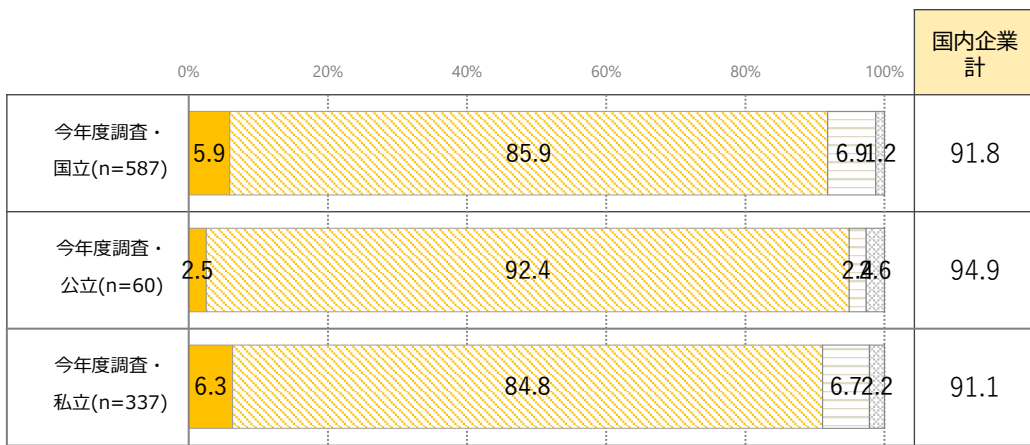
■ 国内企業（ベンチャー企業） ■ 国内企業（ベンチャー企業以外）
□ 外資系企業 ■ わからない

大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



- 国内企業（ベンチャー企業）
- 国内企業（ベンチャー企業以外）
- 外資系企業
- わからない



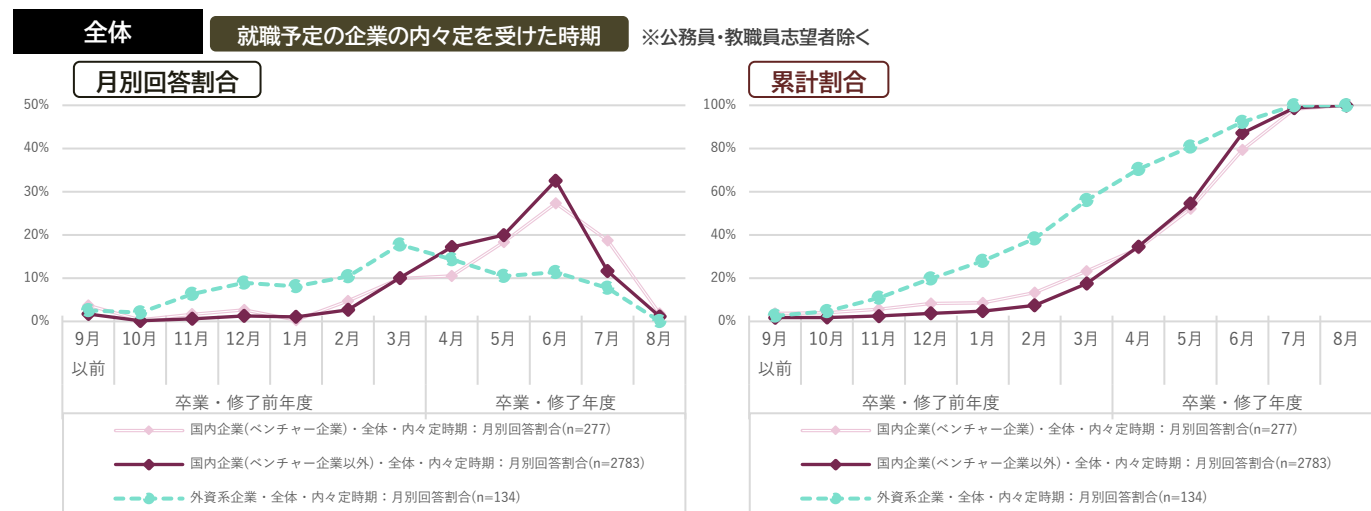
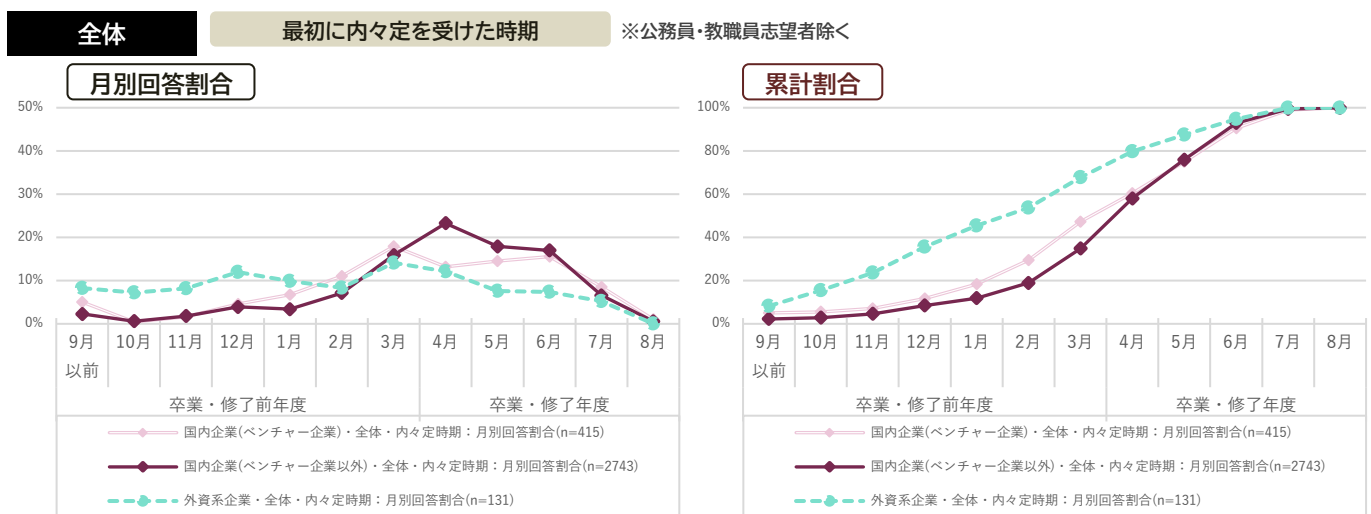
- 国内企業（ベンチャー企業）
- 国内企業（ベンチャー企業以外）
- 外資系企業
- わからない

(2)内々定を受けた時期

①内々定を受けた時期(最初の内々定・就職予定企業の内々定)

最初の内々定を受けた時期・就職予定企業の内々定について※1、内々定を受けた企業の種類で※2と比較した。最初の内々定について、「国内企業(ベンチャー企業以外)」では「2022年4月」が約2割と、他時期と比べて高いが、「国内企業(ベンチャー企業)」「外資系企業」では目立って高い時期がない。一方累積割合では、「外資系企業」では約5割が、「国内企業(ベンチャー企業)」では約3割が、2022年2月以前に内々定を受けたと回答しており、「国内企業(ベンチャー企業以外)」と比べて早い傾向がみられた。

就職予定企業の内々定について、「国内企業(ベンチャー企業以外)」「国内企業(ベンチャー企業)」では、「2022年6月」が約3割と最も高い。一方、「外資系企業」では目立って高い時期がなく、累積割合では、2022年2月以前に就職予定の企業の内々定を受けたと約4割が回答しており、就職予定企業に関しても、「国内企業」と比べて早い傾向がみられた。



※1：最初の内々定については、1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初の内々定を受けた時期について集計した。公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。
 ※2：分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

①内々定を受けた時期(最初の内々定・就職予定企業の内々定)

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体 最初に内々定を受けた時期 ※公務員・教職員志望者除く

【月別回答割合】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業 (ベンチャー企業)	2.5	0.3	0.3	2.0	0.4	1.6	4.6	6.7	11.0	17.9	13.2	14.5	15.5	8.5	1.0
国内企業 (ベンチャー企業以外)	1.6	0.3	0.1	0.3	0.6	1.8	3.9	3.3	7.1	15.9	23.3	17.9	17.0	6.5	0.5
外資系企業	0.0	2.0	1.1	5.2	7.2	8.2	11.9	9.8	8.3	14.1	12.1	7.6	7.3	5.2	0.0

【累積割合】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業 (ベンチャー企業)	2.5	2.8	3.0	5.0	5.4	7.1	11.7	18.3	29.4	47.3	60.5	75.0	90.5	99.0	100.0
国内企業 (ベンチャー企業以外)	1.6	1.9	1.9	2.2	2.8	4.6	8.5	11.8	18.9	34.8	58.0	75.9	92.9	99.5	100.0
外資系企業	0.0	2.0	3.0	8.2	15.4	23.6	35.5	45.4	53.7	67.8	79.8	87.4	94.8	100.0	100.0

全体 就職予定の企業の内々定を受けた時期 ※公務員・教職員志望者除く

【月別回答割合】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業 (ベンチャー企業)	2.4	0.4	0.0	0.9	0.3	1.6	2.6	0.3	4.8	9.9	10.5	18.4	27.4	18.7	1.8
国内企業 (ベンチャー企業以外)	1.3	0.4	0.1	0.0	0.1	0.6	1.3	1.0	2.7	10.1	17.2	20.0	32.6	11.6	1.1
外資系企業	0.0	0.5	0.8	1.2	2.1	6.3	8.9	8.1	10.4	17.7	14.3	10.5	11.4	7.8	0.0

【累積割合】

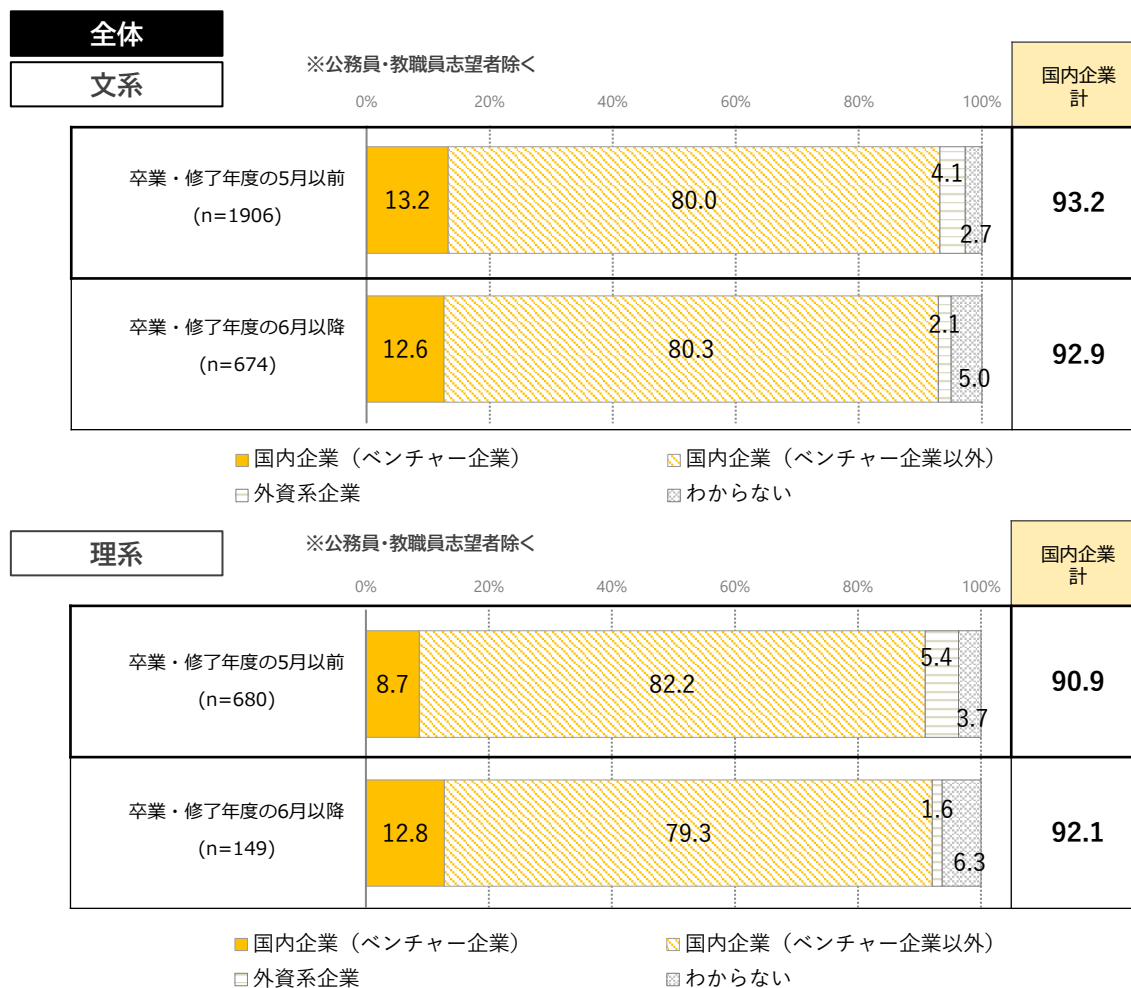
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業 (ベンチャー企業)	2.4	2.8	2.8	3.7	4.0	5.7	8.3	8.6	13.4	23.3	33.8	52.1	79.5	98.2	100.0
国内企業 (ベンチャー企業以外)	1.3	1.6	1.7	1.7	1.8	2.4	3.7	4.8	7.4	17.5	34.7	54.6	87.2	98.9	100.0
外資系企業	0.0	0.5	1.3	2.6	4.6	10.9	19.8	27.9	38.3	56.1	70.4	80.9	92.2	100.0	100.0

②最初に受けた内々定時期と種類 大学の学部・大学別傾向

最初に内々定を受けた企業が国内企業かどうかについて※1、卒業・修了年度の5月以前に受けた者と、卒業・修了年度の6月以降に受けた者に分けて集計を行った。また文系・理系別、国立・公立・私立別にも集計を行った※2。

文系では、どちらの時期も「国内企業（ベンチャー企業以外）」が約8割と最も高い。「外資系企業」については、卒業・修了年度の5月以前で4.1%と、卒業・修了年度の6月以降2.1%よりもやや高い。

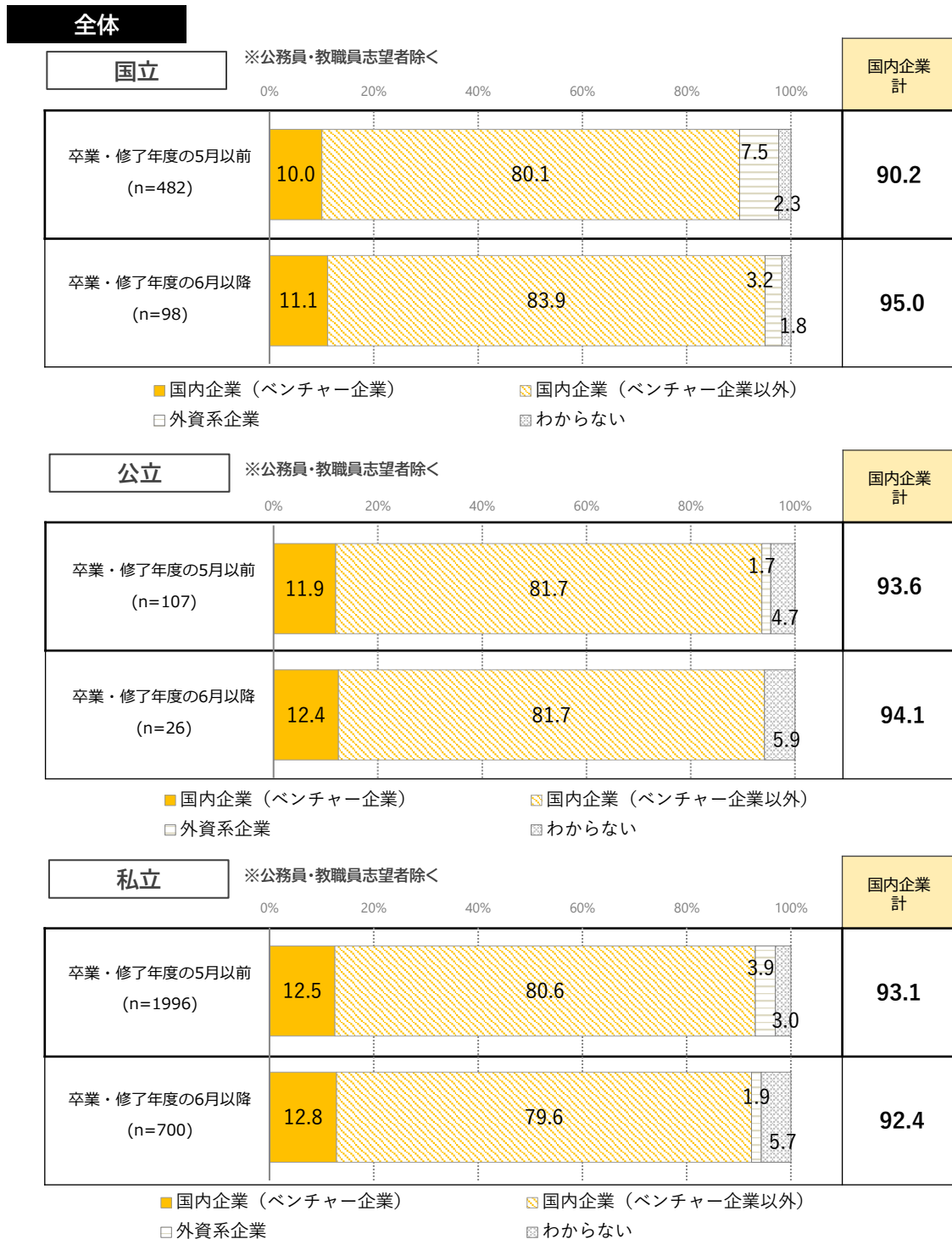
理系でも同様に、「国内企業（ベンチャー企業以外）」が約8割と最も高い。「外資系企業」については、卒業・修了年度の5月以前で5.4%と、卒業・修了年度の6月以降1.6%よりも高い傾向がみられた。



※1：公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

※2：分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

国立・公立・私立の全てにおいて、どちらの時期も「国内企業（ベンチャー企業以外）」が約8割と最も高い。「外資系企業」については、卒業・修了年度の5月以前の方が割合が高い傾向は国立・公立・私立で共通だが、特に国立では、「外資系企業」の割合が、卒業・修了年度の5月以前で7.5%、卒業・修了年度の6月以降で3.2%と、差が大きい傾向がみられた。



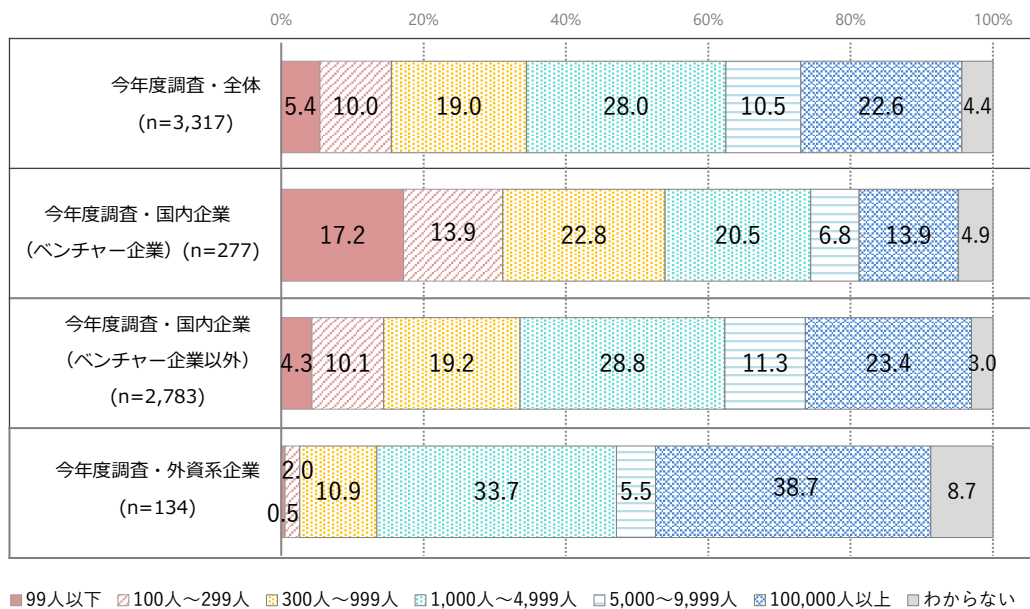
(3)内々定の状況

①就職予定の企業規模

内々定を受けた企業の企業規模(従業員数)※1について、内々定を受けた企業の種類で※2比較した。
 「国内企業(ベンチャー企業)」では、「300人～900人」が22.8%最も高く、次に「1,000人～4,999人」で20.5%、「99人以下」も17.2%と、他と比べて、規模(従業員数)の小さい企業である割合が高くなっている。
 「国内企業(ベンチャー企業以外)」では、「1,000人～4,999人」が28.8%と最も高い。
 「外資系企業」では、「100,000人以上」が38.7%と、国内企業と比べて規模(従業員数)の大きい企業である割合が高い傾向がみられた。

全体

※公務員・教職員志望者除く



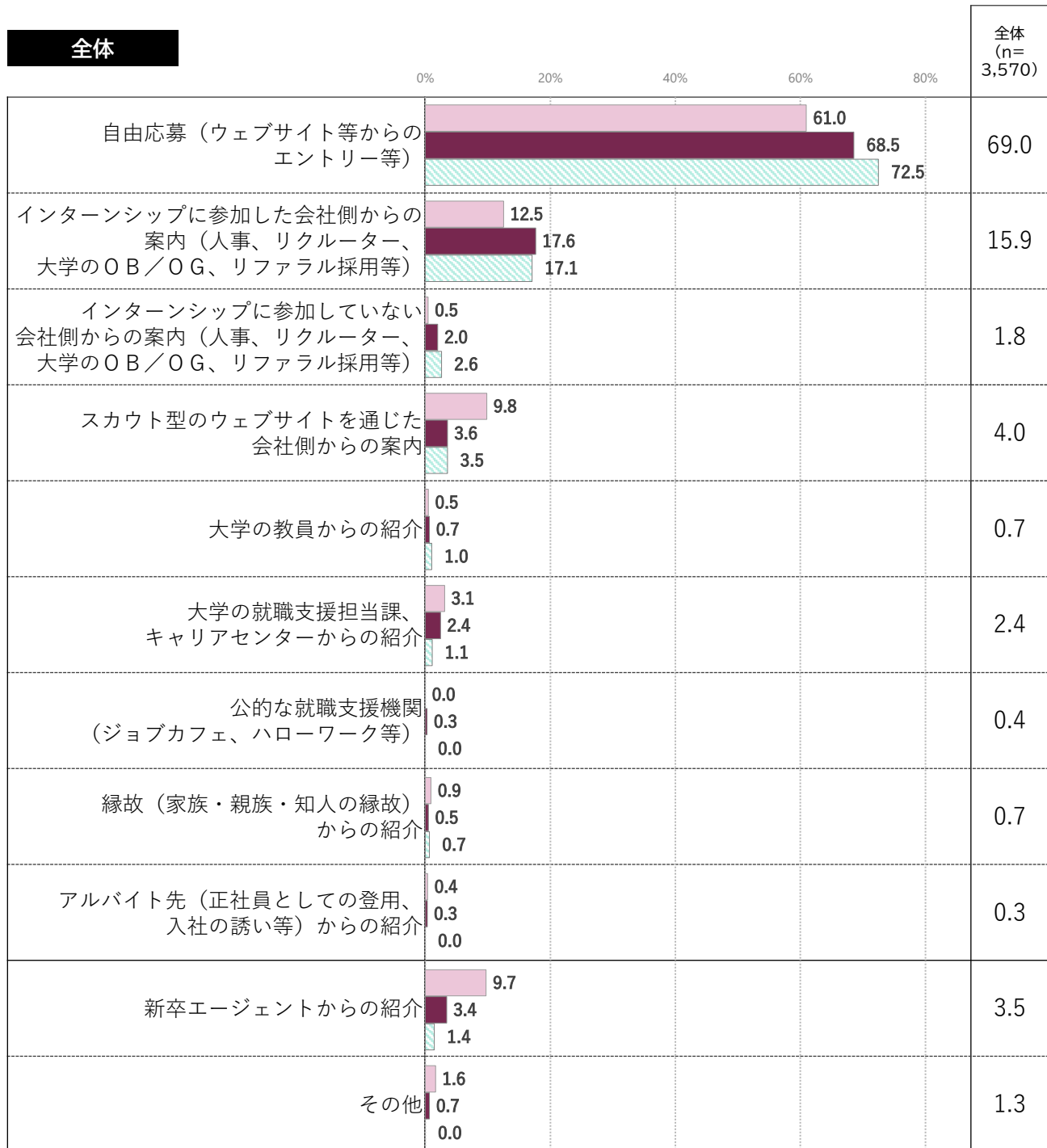
※1：公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

※2：分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

②就職予定の企業を受けた経路

就職予定の企業を受けた経路について、内々定を受けた企業の種類で※1比較した。最も高い経路は、いずれも「自由応募(ウェブサイト等からのエントリー等)」であるが、「国内企業(ベンチャー企業)」では61.0%と、他と比べて低い傾向がみられた。

一方、「国内企業(ベンチャー企業)」では、「スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内」9.8%、「新卒エージェントからの紹介」9.7%が、他と比べて高い。



■ 今年度調査・国内企業 (ベンチャー企業) (n=277)

■ 今年度調査・国内企業 (ベンチャー企業以外) (n=2,783)

■ 今年度調査・外資系企業(n=134)

※1: 分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

第九章 文系・理系別の分析

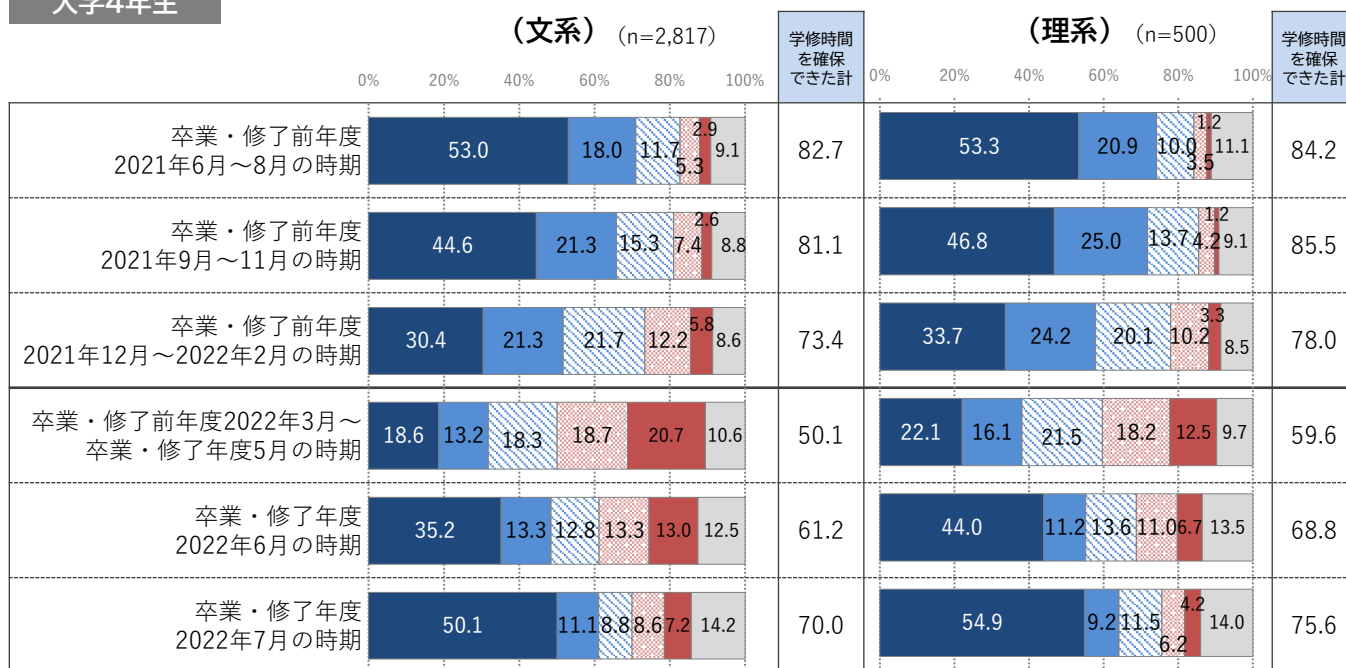
第九章 文系・理系別の分析

(1) 文系・理系別の就職活動の内容

①文系・理系別の就職活動と学修時間確保の状況

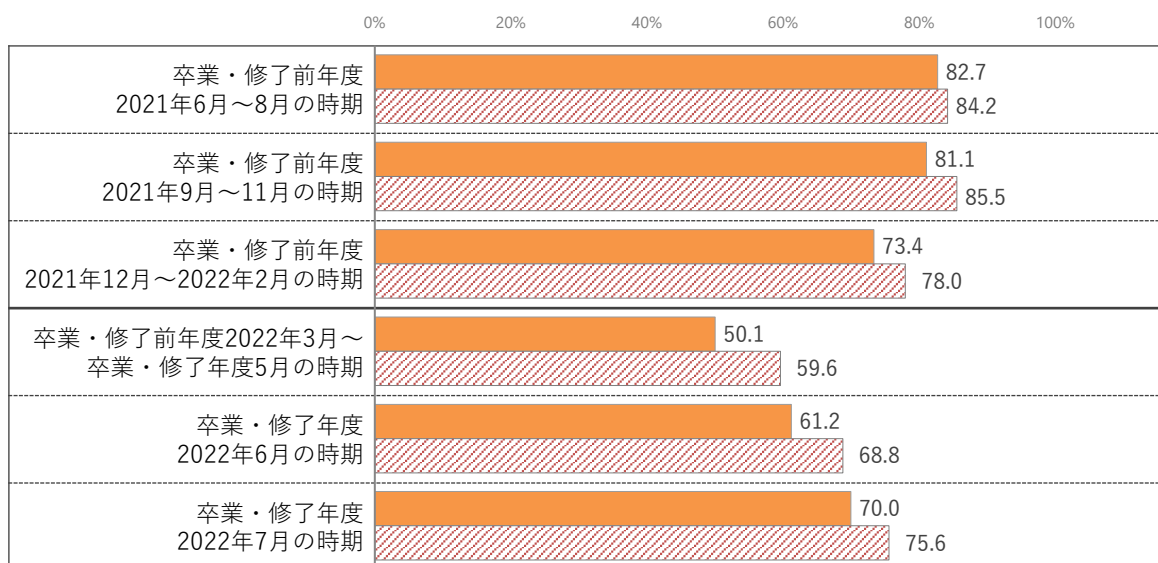
就職活動と学修時間確保の状況について、大学4年生・大学院2年生のそれぞれについて文系・理系別※1に集計すると、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、大学4年生・大学院2年生ともに概ね「理系」の方が学修時間が確保できた割合は大きい。

大学4年生



- 就職活動の影響をほとんど受けることなく十分学修時間を確保できた
- 就職活動に少し時間を割くことがあったが、必要な学修時間は確保できた
- 就職活動に時間を割くことがあったが、一定の学修時間は確保できなかった
- 就職活動に時間を取られ、あまり学修時間が確保できなかった
- 就職活動によりほとんど学修時間の確保ができなかった
- 就職活動に時間を取られたが、学修時間への影響はなかった

(文系・理系別比較)



- 大学4年生・文系(n=2,817)
- 大学4年生・理系(n=500)

※1: 「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている。